

すぐに わかる えびののこつ
いっき わかい えびのんこつ



しまうち

島内

ちかしきよこあなぼぐん

地下式横穴墓群

くにしていじゅうようぶんかざい
- 国指定重要文化財 -



しまうちちかしきよこあなぼぐん しゅつど ぎんぞうがんにゅうもんたち せいきぜんはん すいそく ぜんちよう
島内地下式横穴墓群から出土した銀象嵌龍文大刀（6世紀前半と推測・全長98.6cm）

しれきしみんぞくしりょうかん
えびの市歴史民俗資料館



もくじ 目次

こふんじだい
古墳時代ってどのくらい前？

それは、どんな時代だったの？ 1

ちかしきよこあなぼ
地下式横穴墓のある所は？ 3

ちかしきよこあなぼ
地下式横穴墓ってどんな形なの？ 4

しまうち
島内139号地下式横穴墓の調査による模式図 5

しまうち
島内139号地下式横穴墓の写真だよ 6

ふくそうひん
副葬品が多く発見されるのはなぜ？ 7

げんしつ
玄室の温度と湿度は？ 7

ふくそうひん
どんな副葬品が古墳に入っていたの？ 8

ひと
どんな人が古墳に入っていたの？ 11

しまうちこふんおおいや
島内古墳覆屋 12

えびの市歴史民俗資料館ではしまうちちかしき
えびの市歴史民俗資料館では島内地下式

よこあなぼぐん
横穴墓群 重要文化財の展示をしています . . . 13

こふんじだい まえ
古墳時代ってどのくらい前？
じだい
それは、どんな時代だったの？



きゅうせつきじだい じょうもんじだい やよいじだい つぎ こふん
旧石器時代・縄文時代・弥生時代の次が古墳

じだい せいきなか せいきぜんはん いま
時代です。（3世紀半ば～7世紀前半。今から

ねん ねんくらいまえ
1700年から1300年位前）

こふんじだい せいけん きゅうしゅう どうほく
古墳時代は、ヤマト政権が九州から東北

ちほう ひと くに
地方までを一つの国にまとめていこうとして

じだい
いた時代です。



しゃしん いいのそんこふん なか つうしょう せんじん
写真：飯野村古墳の中のひとつで、通称「千人
塚古墳」（えびの市原田地区）円墳

いいのそんこふん 飯野村古墳

とうざい なんぼく はんい こふんじだいちゅうき
東西500m、南北1,100mの範囲に古墳時代中期
こうはん こうき せいきちゅうよう せいきだい ふんぼ
後半～後期（5世紀中葉～6世紀代）の墳墓が
すうひゃくきぶんぶん すいてい なか
数百基分布していると推定される。その中で
ゆいいつのこ えんぼん すいていちようけい
唯一残っている円墳（推定直径23m）。
しょうわ ねん がつ か けんしてい しせき
昭和10年7月2日、県指定 史跡。



しゃしん こきばるこふん しうわえちく ちかしきよこあなぼ
写真：小木原古墳（えびの市上江地区）地下式横穴墓
こきばるこふん
小木原古墳

とうざい なんぼく はんい すうぐん こきばる
東西1,350m、南北500mの範囲に数群（小木原2・
わらび くみさこ わ かいじょう かくにん
蕨1・久見迫2）に分かれて400基以上が確認さ
げんざい こきばるちかしきよこあなぼぐん そうしょう
れている。現在、小木原地下式横穴墓群と総称
している。5世紀初頭から6世紀後半にかけて
せいきしやうどう せいきこうはん いとな
営まれた古墳群である。
こふんぐん
その中で唯一残っている円墳（直径10m）。
なか ゆいいつのこ えんぼん ちようけい
平成21年3月6日、市指定 史跡。

せいき 3世紀になると、いちぞく おさ 一族の長や、ちいき おう 地域の王とな

りつつあった ゆうりよくしゃ 有力者などが、ちい ちから はか 地位や力を墓に

あらわ 表すようになりました。

参考文献『考古学から学ぶ古墳入門』P31

なかでも もっとも 大きな古墳は、おおさかふ 大阪府にあ

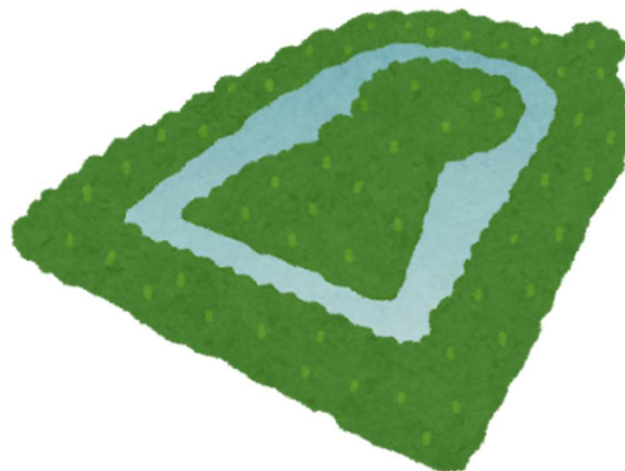
る だいせんこふん 大仙古墳 (にんとくてんのう はか 仁徳天皇の墓である にんとくてんのうりょう 仁徳天皇凌と

されています) で、こふん 古墳そのものの ぜんちょう 全長が52

5m もある ぜんぽうこうえんふん 前方後円墳で せいき 5世紀のはじめにつ

くられたと かんが 考えられています。

参考文献『親子でまなぶたのしい考古学』P65



ぜんぽうこうえんふん 前方後円墳 (へいめん えんけい ちょうほうけい だいけい れんけつ かたち ふんきゅう 平面が円形と長方形ないし台形とを連結した形の墳丘)

ふんきゅう うえ つち いし つ かさ おか 墳丘: 上に土や石を積み重ねて丘のような形をした墓。

ちかしきよこあなぼ ところ
地下式横穴墓のある所は？



しゅ ぜんぼうこうえんふん へいやぶ ちかしき
主として、前方後円墳は平野部に、地下式

よこあなぼ みやざきへいや おおよどがわりゅういき かくとうぼんち
横穴墓は宮崎平野と大淀川流域と加久藤盆地・

おおくちぼんち きもつきへいや いたいしづみせっかんぼ せんだいがわ
大口盆地・肝属平野に、板石積石棺墓は川内川

りゅういき ぶんぶ
流域に分布しています。

参考文献：鹿児島大学総合研究博物館『九州南部における古墳時代鉄器の基礎的研究』2014

し ちかしきよこあなぼ おお はっくつ
えびの市では、地下式横穴墓が多く発掘され

へいせい ねん がつ か
ています。平成24年9月6日



みやざきけんしまうちちかしき
「宮崎県島内地下式

よこあなぼぐんしゅつどひん
横穴墓群出土品」は

くにしていじゅうようぶんかざい
国指定重要文化財

になりました。

みやざきけんしまうちちかしきよこあなぼぐんしゅつどひん だいひょうてき
←宮崎県島内地下式横穴墓群出土品（代表的

なもの）

こふんじだいちゅうき ごうまき せいまき いぶつ
古墳時代中期～後期（5～6世紀）の遺物。

しまうちちかしきよこあなぼ しゅつどひん いそんじようたい
島内地下式横穴墓の出土品のうち、遺存状態

りょうこう てんがしてい ほんし しよぞう
の良好な1029点が指定され、本市で所蔵

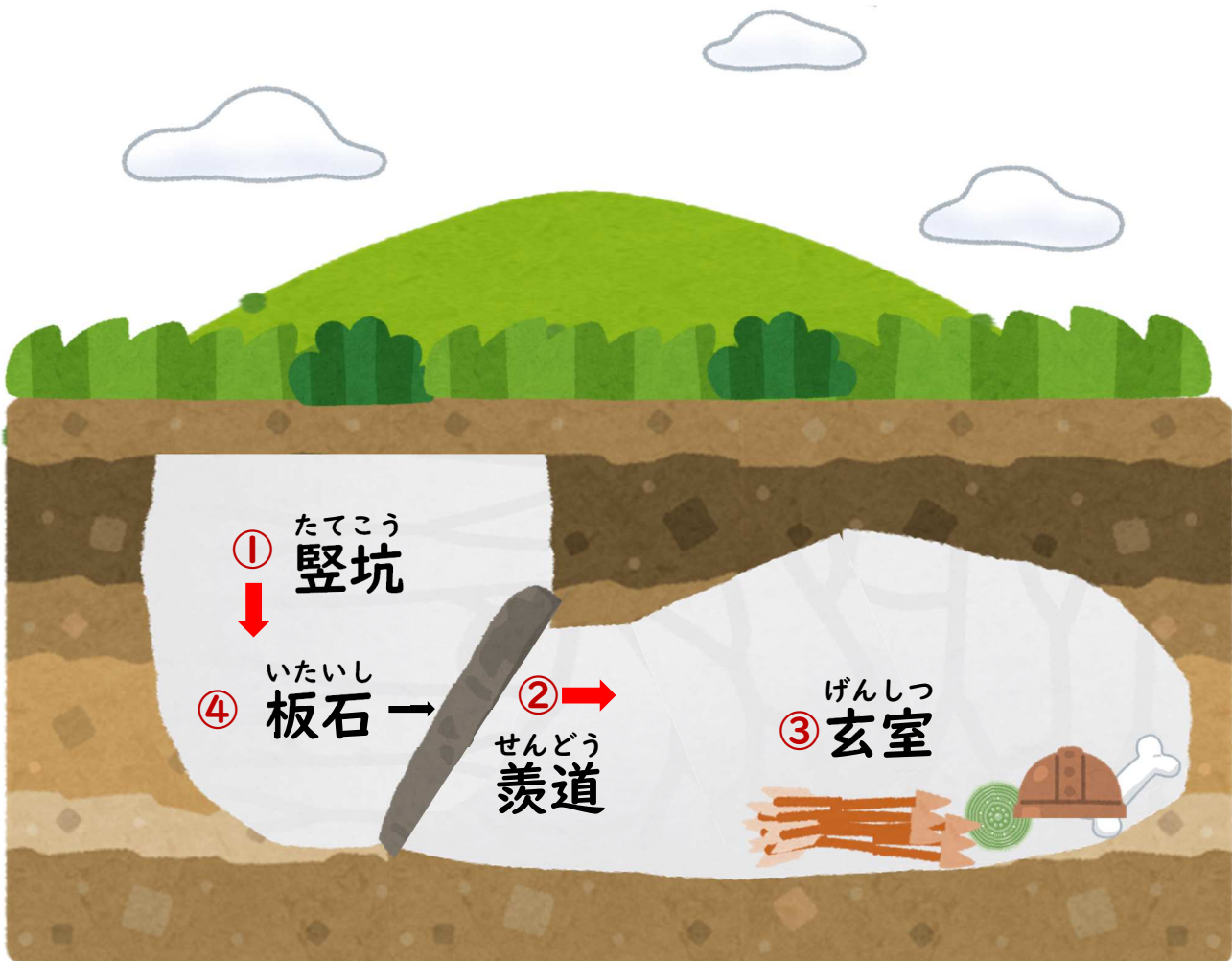
しています。



ちかしきよこあなほ かたち
地下式横穴墓ってどんな形なの？

- ① ^{じめん}地面からまっすぐ下へ穴（^{した} ^{あな} ^{たてこう} 竖坑）を掘り、
- ② 穴の底からさらに横へ穴（^{よこ} ^{あな} ^{せんどう} 羨道）を掘って
- ③ その奥に空洞（^{おく} ^{くうどう} ^{げんしつ} 玄室）をつくり遺体をおさ
めます。
- ④ 羨道の入口は板石や土の塊（^{せんどう} ^{いりぐち} ^{いたいし} ^{つち} ^{かたまり}）でふさぎ、
竖坑も埋めてしまいます。

参考文献『みやぎきの埋蔵文化財ハンドブック』P17

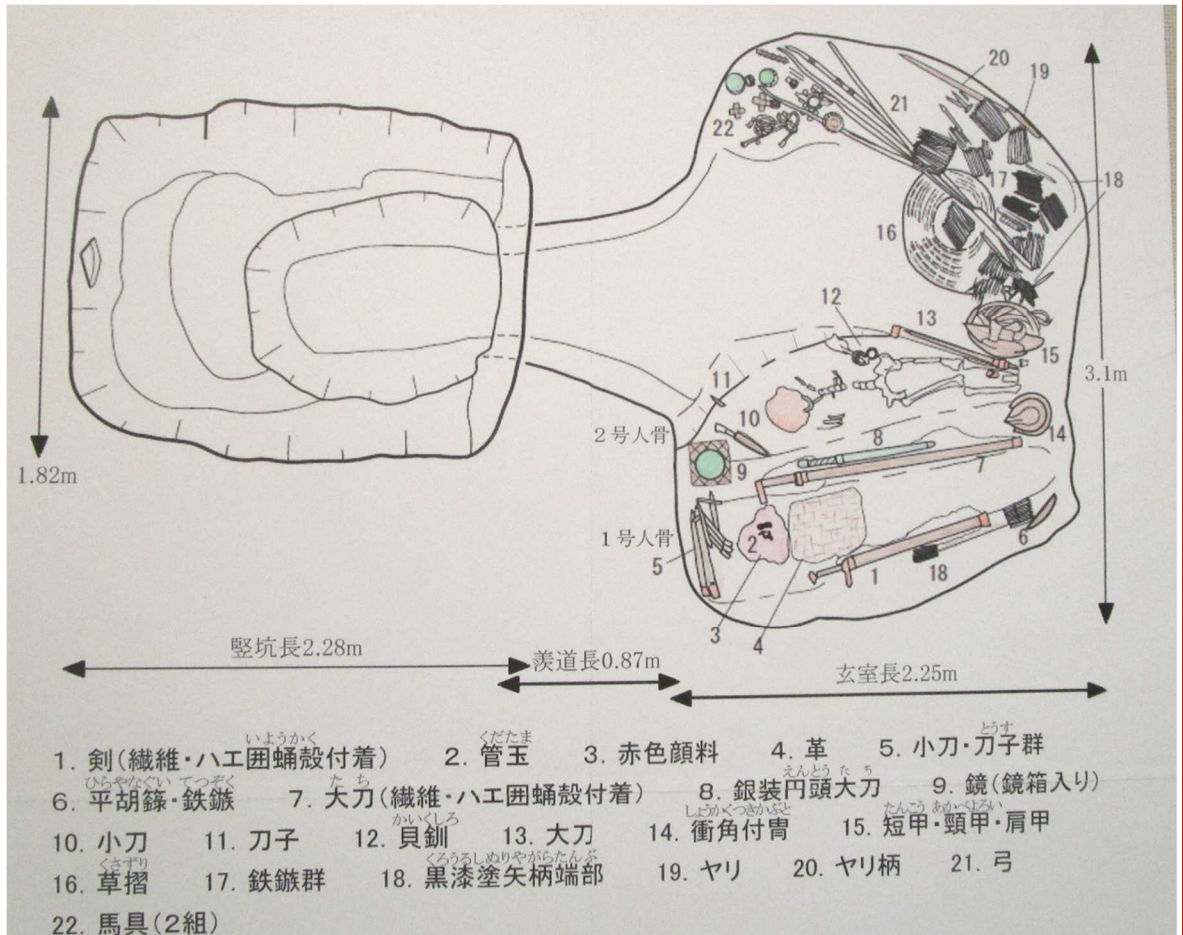


しまうち ごうち かしきよこあなぼ ちょうさ
 島内139号地下式横穴墓の調査
 もしきず
 による模式図です

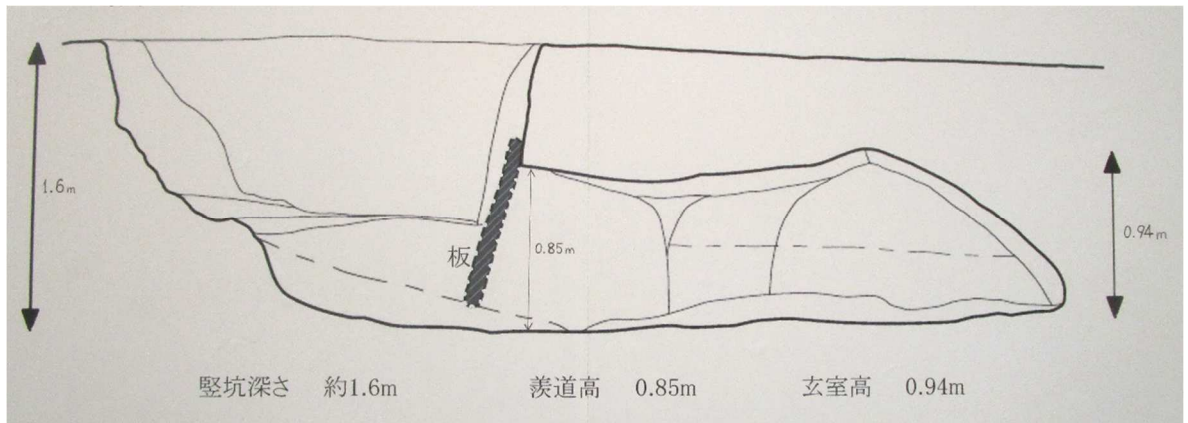
もしきず ひょうじゆん てんけいてき けいしき づ さんこうぶんけん/こうじえん だい ほん
 模式図：標準となるべき典型的な形式の図 参考文献/広辞苑.第5版



うえ もしきず
 ↓ 上からの模式図



よこだんめんず
 ↓ 横断面図



かくさい けいまくち けいまくち ずら せいど へんどう
 各部位の計測値は計測部によって数cm程度は変動します。



しまうち ごうち か し き よ こ あ な ぼ しゃしん
 島内139号地下式横穴墓の写真だよ！

みとうくつ つち う かんぜん じょうたい
 未盗掘で、土に埋もれず、完全な状態の

ふくそうひん たいりょう しゅつど
 副葬品が大量に出土しました。

ふくそうひん
 副葬品とは？

な ひと ほうむ いっしょ たと なたな けん よろい かぶと ばく
 亡くなった人を 葬るとき、一緒に入れるもの。例えば、刀・剣・甲・冑・馬具

のうぐ せいどうせい かがみ くびかざり うでわ どき
 ・農具・青銅製の鏡・首飾・腕輪・土器などです。

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P7 1



↑ 竪坑



↑ 羨道からのぞいた玄室内



↑ 玄室内中央部付近

出典：えびの市歴史民俗資料館パンフレット「えびの市 島内139号地下式横穴墓 調査速報」

ふくそうひん おお はっけん
副葬品が多く発見されるのはなぜ？



ちか しきよこあなぼ かたち
地下式横穴墓の形からもわかるように、

みっぺい なか おんど しつど ひじょう あんてい
密閉された中の温度と湿度は非常に安定した

じょうたい
状態となります。

じつ あんてい おんど たか しつど ふくそうひん
実はこの安定した温度と高い湿度が副葬品

のこ よ かんが
の残りを良くしたと考えられています。

げんしつ おんど しつど
玄室の温度と湿度は？



げんしつ おんど いちねん とお
玄室の温度は一年を通して14～15℃ほ

どで安定しています。

しつど たか
湿度はとても高く、98～99%です。

ちか しきよこあなぼ しゅつど てつせいひん ほぞんじょうたい
地下式横穴墓から出土する鉄製品は保存状態

よ ぜんこく けんきゅうしゃ ちゅうもく
が良いので、全国の研究者からも注目されて

います。 参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P79～P81



ふくそうひん こふん はい
 どんな副葬品が古墳に入っていたの？

しまうちち かしきよこあなほ かっちゅう どうけん や
 島内地下式横穴墓は、甲冑や刀剣、矢じり、

ばぐ のうこうぐ てつ つく おお ふくそう
 馬具、農工具など鉄で作られたものが多く副葬

されています。副葬品は鉄のみでなく、木製の鞘

ま ひも かわせい ひも きぬ あさせい ぬの ほね
 に巻かれていた紐、革製の紐、絹や麻製の布、骨

つのせい そうしょくひん つく かた
 や角製の装飾品など、作り方がわかるほどの

ゆうきぶつ さび よ
 有機物が錆でコーティングされて、とても良い

じょうたい のこ
 状態で残っているのです。

れい かがみ わせいぼんりゆうきょう しまうちち かしきよこあなほ
 例) 鏡 (倭製盤龍鏡) 島内139号地下式横穴墓

ちかしきよこあなほしゆつど かがみ さいだい せいきこうようごろ せいけん
 地下式横穴墓出土の鏡としては最大 (15.5~15.6cm)。4世紀後葉頃、ヤマト政権で

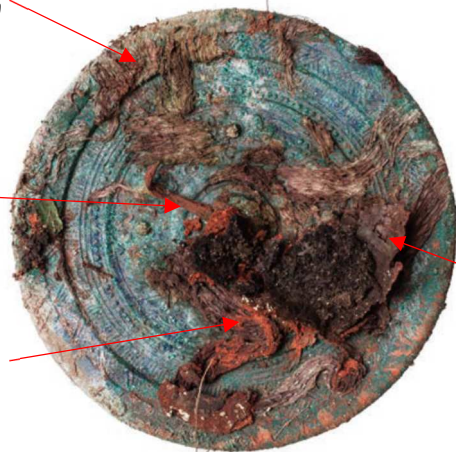
せいさく かがみ ゆう まつ せきしよくがんりょう ぬ がいめん あじろあ かざり ほどこ
 制作された鏡。木綿を巻き付け、赤色顔料を塗り、外面に網代編み飾を施したものに

の かがみ ようき はこ かんが
 乗せていました。鏡の容器として箱が考えられます。

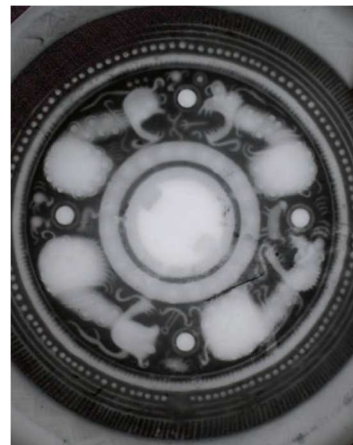
ゆう
 木綿

かわひも
 革紐

せきしよくがんりょう
 赤色顔料



あじろあ
 網代編み



わせいぼんりゆうきょう しまうちち ごうちかしきよこあなほ
 倭製盤龍鏡 (島内139号地下式横穴墓)

わせいぼんりゆうきょう しまうちち ごうちかしきよこあなほ
 倭製盤龍鏡 (島内139号地下式横穴墓)
 X線CT画像

鏡の写真とX線CT画像

2016.12.18 えびの市歴史民俗資料館 企画展 講演会レジユメ
 島内139号墓の調査とその後の新発見-刀剣を中心に-
 橋本達也 (鹿児島大学総合研究博物館)

しまうちちかきよこあなぼぐん くにしていじゅうようぶんかざい
島内地下式横穴墓群 国指定重要文化財の



いちぶ しょうかい
一部を紹介します。

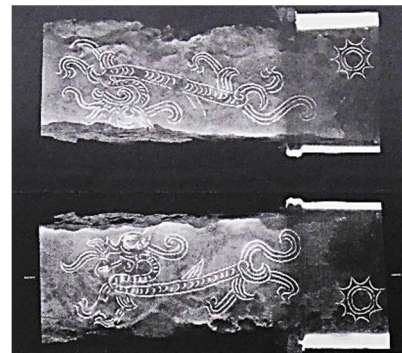
ぎんぞうがんにりゅうもんたち
・銀象嵌龍文大刀

じょうきゅう しょうじ クサビカシラ たち せいきだい りゅう そうがん ゆう ぜんこく れい
 上級クラスが所持する楔頭の大刀で、6世紀代に龍の象嵌を有するものは全国に3例
 しかなく、その中でも最も遺存状態が良いものです。全長98.6 cm。



はばきもとこう じんぶまつたんまちぶ いとてきせんこう ぶ
 鉤元孔（刃部末端関部の意図的穿孔）部
 れんこりんじょうもん たいよう そうがん
 に連弧輪状文（太陽か）の象嵌があり、
 そうとう ぶくん たい せいけん
 相当な武勲に対するヤマト政権からの
 かし おち
 下賜かと思われます。

かし こうき ひと した ひと もの あた
 下賜：高貴の人が下の人に物を与えること。
 さんこうぶんけん こうじえん たい ほん
 参考文献/広辞苑.第5版



↑鹿児島大学総合研究博物館『x線CT調査による古墳時代甲冑の研究』2018より

出典：えびの市歴史民俗資料館パンフレット
 「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説」

たんこう
・短甲

どう まも たんこう てん あたま まち かぶと てん あかべよろい かたよろい わきあて こて すねあて しゅつど
 胴を守る短甲5点と頭を守る冑3点があり、頸甲・肩甲・脇当・籠手・臑当は出土して
 こし ひざ まち くさずり ひかくせい こんせき れい かくにん せいけんか
 いないが、腰から膝までを守る草摺は皮革製の痕跡1例が確認されています。ヤマト政権下
 いちげんせいさん かし おち せいきこうはん みしてい てん
 での一元生産で、下賜されたものです。主に5世紀後半のもので、さらに未指定が2点あり。

さんかくいたよこはぎいたへいようびょうどめたんこう
三角板横矧板併用鋏留短甲



よこはぎいたびょうどめたんこう
横矧板鋏留短甲



かぶと ・ 冑

三種類あり、革綴が古く、新しくなると鉄の鉾に代わります。いずれも遺存状態が良好です。さらに未指定が2点あります。

さんかくいたかわとししょうかくつきかぶと
三角板革綴衝角付冑



こざねびょうどめしょうかくつきかぶと
小札鉾留衝角付冑



よこはぎいたびょうどめしょうかくつきかぶと
横矧板鉾留衝角付冑



だこうけん ・ 蛇行剣

5世紀後半～6世紀前半に製作された3～5ヶ所で屈折する鉄剣で、近畿地方と南九州にやや集中して出土しています。当遺跡

からは12本出土しており、突出した数ですが、大王墓からは出土しないので、権威の象徴ではありません。

ただし、当遺跡の場合は、上層階層者の所有物とおもわれます。

全長30.1～69.6 cmで大中小のサイズがあります。



ばぐ ・ 馬具



くつわ
轡

馬の口にくわえさせ、手綱を付けて馬を制御する道具です。

そうしんぐ ・ 装身具



こだま
ガラス小玉

15号墓の壮年女性の左腕に紺色のガラス小玉61個からなるブレスレットが装着されていたほかは2点しか出土していません。

出典：えびの市歴史民俗資料館パンフレット

「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説」

ひと こふん はい
どんな人が古墳に入っていたの？



こふん まいそう じんこつ しら
古墳に埋葬された人骨を調べると、年齢や

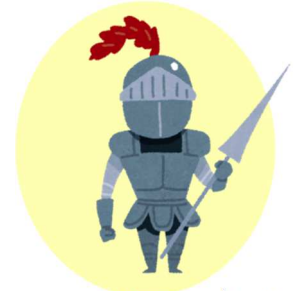
せいべつ しんちょう ほか ひと びょうき けんこう
性別、身長などの他に、その人の病気や健康

じょうたい しいん しゅうかんてき こうどう しゅっさんけいけん
状態、死因、習慣的な行動、出産経験など

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P81

わ
も分かることがあります。

ふくそうひん ないよう
また、副葬品や、その内容の



く あ りょう まいそう ひと ち い
組み合わせ、量によって埋葬された人の地位

ちが してき
の違いを指摘することもできます。

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P77

せいけん かんけい ふくそうひん
ヤマト政権との関係をあらわす副葬品が、

しまうち ごうぼ たいりょう しゅつど
島内139号墓から大量に出土して

こんご ぶんせき しんてん かいめい
います。今後の分析の進展により解明

されてくることもあるかもしれません。

しまうちち か しきよこあな ぼ ろうにやくなんによわ
また、島内地下式横穴墓は老若男女分けへ

きょうだいしまい まいそう はか せだい
だてなく兄弟姉妹を埋葬した墓です。(2世代～

せだい はい ばあい
3世代まで入っている場合もあります)

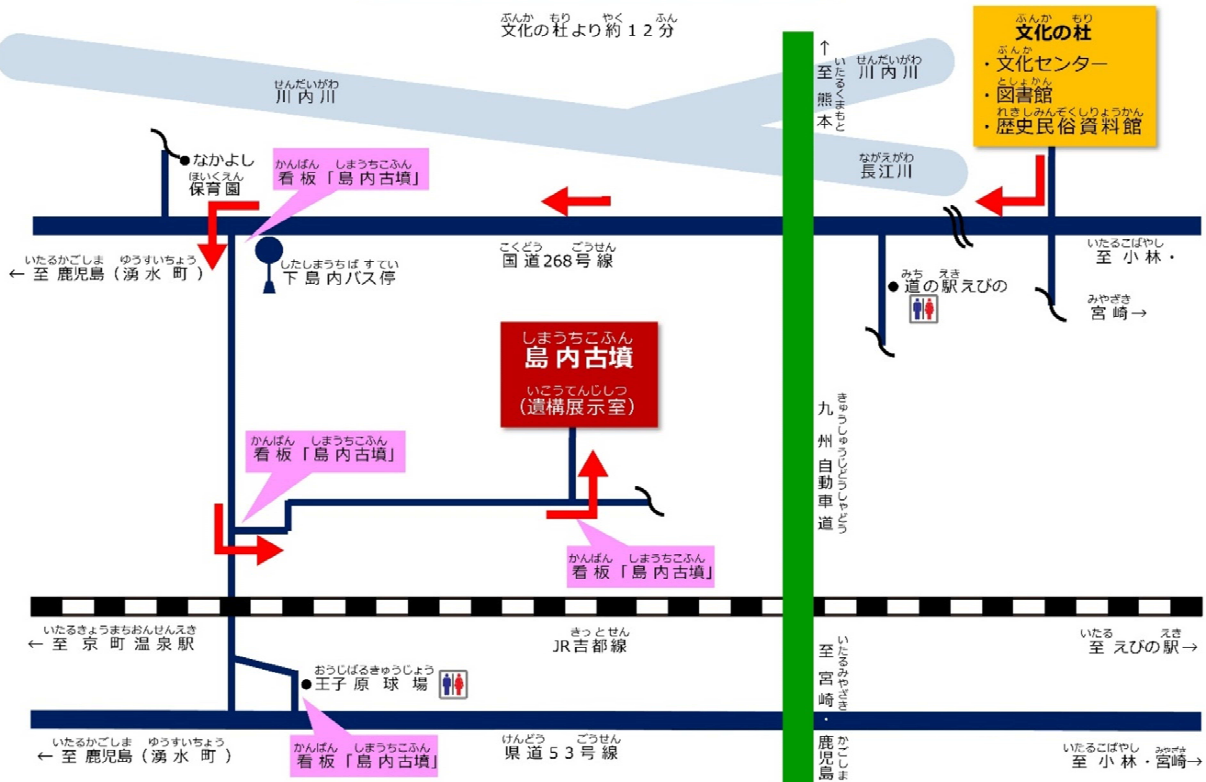
しまうちこふんおおいや 島内古墳覆屋

平成26年(2014)3月に開設されました。
「横穴式石室系板積石棺墓」が展示してあります。



しまうちこふんおおいや あんないず
島内古墳覆屋への案内図です。

しまうちこふんあんないず 島内古墳案内図





し れ き し み ん ぞ く し り ょ う か ん
えびの市歴史民俗資料館では
 し ま う ち ち か し き よ こ あ な ほ ぐ ん し ゅ つ ど く に
島内地下式横穴墓群から出土した**国**
 し て い じ ゅ う よ う ぶ ん か ざ い て ん じ
指定重要文化財の展示をしています。

けいさい ふくそうひん ぎんぞうがん
P9～P10に掲載されている**副葬品**（**銀象嵌**
 りゅうもんたち だこうけん かぶと ばぐ てんじ
龍文大刀・蛇行剣・冑・馬具など）を**展示**し
 ています。ぜひ、**実物**を**ご覧**ください。



↑えびの市歴史民俗資料館 展示室

りんせつ し み ん と し ょ か ん し ま う ち ち か し き よ こ あ な ほ ぐ ん か ん し り ょ う か だ
 隣接する**えびの市民図書館**では、**島内地下式横穴墓群**に関する資料の貸し出しもしてありま
 す。ご利用ください。 **えびの市民図書館**（お問い合わせ）TEL：0984-35-0242 FAX：0984-35-3040

<資料名>

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 『島内地下式横穴墓群』 | 『島内地下式横穴墓群Ⅱ』 |
| 『島内地下式横穴墓群Ⅲ 岡元遺跡』 | 『島内地下式横穴墓群Ⅳ』 |
| 『島内地下式横穴墓群Ⅴ 灰塚地下式横穴墓群』 | 『島内139号地下式横穴墓Ⅰ』 |
| 『島内地下式横穴墓群Ⅵ 灰塚地下式横穴墓群Ⅱ』 | 『島内139号地下式横穴墓Ⅱ』 |
| 『島内地下式横穴墓群Ⅶ』 | 『島内139号地下式横穴墓Ⅲ』 |
| 『重要文化財指定記念 特別展 一島内地下式横穴墓群出土品1029点一』 | |

<参考文献>

○書籍

- ・著者：松木武彦 編 書名：『考古学から学ぶ 古墳入門』 出版社：講談社
発行年：2019年6月 P31～32
- ・著者：山岸良二 さかいひろこ 書名：『親子でまなぶ楽しい考古学』
出版社：同成社 発行年：2018年7月 P65
- ・著者：橋本達也 編 書名『九州南部における古墳時代鉄器の基礎的研究』
出版社：鹿児島大学総合研究博物館 発行年：2014年8月
- ・著者：宮崎県立西都原考古博物館 編 書名：『もっと知りたい宮崎の古代』
出版社：鉾脈社 発行年：2017年3月 P71、P75、P77、P80、P81
- ・著者：吉村靖徳 書名：『九州の古墳』 出版社：海鳥社
発行年：2015年12月 P162～163
- ・著者：えびの市教育委員会 編 書名：『えびの市の文化財』
発行者：えびの市教育委員会 発行年：2013年3月 P4
- ・著者：えびの市教育委員会 編書名：『島内 139号地下式横穴墓 I』
発行者：えびの市教育委員会 発行年：2018年3月
- ・著者：中野和浩 書名：史談会『えびの45号』 発行年：2011年5月
発行者：えびの市史談会 P11～14

○えびの市歴史民俗資料館 館内パンフレット

- ・「えびの市 島内 139号地下式横穴墓 調査速報」 発行年：2015年1月
- ・「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説」
- ・「南九州の古墳」
- ・「資料館のみどころ」

○その他（冊子など）

- ・2016.12.18 えびの市歴史民俗資料館 企画展 講演会レジュメ
島内139号墓の調査とその後の新発見－刀剣を中心に－
橋本達也（鹿児島大学総合研究博物館）
- ・ふるさと散歩 No.138（広報えびの 2010年4月号） 重要文化財の大刀
発行：えびの市
- ・『みやざきの埋蔵文化財ハンドブック』 発行：宮崎県埋蔵文化財センター
P17



みやざきけんしまうちちかしきよこあなほくしゆつどひん だいひょうてき
宮崎県島内地下式横穴墓群出土品（代表的なもの）

発行/2021年5月

しれきしみんぞくしりょうかん
えびの市歴史民俗資料館

Facebook



Twitter



〒889-4311 宮崎県えびの市大字大明司2 | 4 6 - 2 TEL/FAX 0984-35-3144